



## 防犯研修会で見つけたもの

「学校内での不審者の対応」をねらいとし、2月16日、各小学校の学校安全担当者を対象に「学校安全ネットワーク推進研修会」を実施しました。

県警本部の方々の迫力ある実演により、不審者への声のかけ方や、盾・サスマタ等の使用法を、様々な想定の中で教示していただきました。

この研修会で見つけた、不審者対応のポイントをご紹介します。

### ①心構え

事件はいつ起こるかわからないので、常に万が一への心構えをもつことが大切です。

(例) 授業中に不審者が侵入したら。

(例) 子どもたちと一緒に体育館へ移動中に不審者が侵入したら。

※そのときあなたはどうか対応しますか。

### ②声かけ

事件を未然に防止するために、訪問者には、挨拶等の「声かけ」を必ず行いましょう。

(例) 「こんにちは。どういったご用件でしょうか？」

※この声かけで、不審者は逃げていくことがあります。その後、すぐ110番通報を。

### ③継続的な防犯研修

各学校の実情に応じて、教職員対象の防犯研修を継続して行いましょう。

(例) 玄関に不審者発見！盾やサスマタは職員室前に設置。その時！

※子どもを守るために、万が一のときに適切な対応ができるよう、継続的に研修を。

## ★防犯の訓練等を行いたい学校は、各警察署の生活安全課へご相談ください。



▲防犯研修会での「不審者対応」の実演

## “Hello Safety” 柏崎小学校

本校のモデル校としての取組は、

- ①ボランティア等による見守り活動の充実
- ②防犯ベストの着用や看板・プレートの掲出等の防犯活動の見える化の推進
- ③地域ぐるみで行う防犯意識の高揚等が挙げられます。

学校警備員を午前半日に配置するに当たり、各自治会長、民生委員や児童委員、学校評議員、交通指導員、PTA役員、防犯ボランティア、110番の家等の方による「柏崎小学校安全ネットワーク連絡協議会」を2学期から立ち上げました。

具体的には、学校では、

- 職員による校内、敷地内の見回り
- 学年一斉下校や複数児童での下校
- 防犯教室の実施      ○通学路の安全確認
- 連絡協議会の開催      ○携帯メールの開設
- 児童から募集した標語の掲出
- 防犯カメラの設置（昇降口、門前）
- 職員・児童による毎朝のあいさつ運動等を実施しています。

また、保護者、地域の方々は、

- 自転車・自動車への防犯プレート設置
- 自宅前での見守り
- 防犯ベストを着用しての犬の散歩、買物 等子どもを見守る目をできるだけ多くしております。

「自分の安全は自分で守る」この原則は、そのままに、挨拶などを通じて心の通い合うネットワークづくりをめざしております。



▲児童から募集した標語



▲登校時の柏崎小学校の「あいさつ運動」



## 防犯ワンポイントアドバイス

前号に続き埼玉県警の防犯担当者から、新年度当初の防犯上の配慮事項についてご指摘をいただきました。「通学班では、最上級生が卒業したり、新入生が加わったりし、落ち着くまでに多少時間がかかると思いますので、教員、保護者、地域の方々による見守りをお願いします。通学路には、交通事故の発生しやすい、人目につきにくいなど、危険が潜んでいる場所がありますので、安全マップ等を活用し、新入生に指導していく必要があります。また、身の危険を感じたときに対処できるよう、防犯ホイッスルやブザーを鳴らして逃げる方法や、通学路にある「子どもひなん所110番の家」を確認しておくことも大切です。さらに、計画停電による信号の滅灯など、地震の影響による新たな危険があることも念頭においてください。」